

様式-5

再生骨材試験結果一覧表			
測定年月日 令和6年4月15日			
製造所 倉吉アスコン株式会社			
種別 再生骨材(13~0mm)		試験者 田子三由生	
試験項目	平均値	再生骨材規格	
粒度試験結果 pass (%)	19.0(mm)	100.0	
	13.2	99.3	
	4.75	66.1	
	2.36	42.8	
	600(μm)	33.7	
	300	23.0	
	150	11.9	
	75	9.0	
旧アスファルト含有量 (%)	4.87	3.8 以上	
圧裂係数 (Mpa/mm)	1.10	1.70以下	
洗い損失量 (%)	1.2	5 以下	
最大密度 (g/cm ³)	2.511	—	
※2骨材密度 (g/cm ³)	2.707	—	
備考			
<p>※1 マーシャル安定度試験方法による推定針入度 再生骨材 1 3 - 0 の内 4.75mmふるい通過分を用いた。</p> <p>※2 骨材密度は計算より求めた。</p>			

アスファルトコンクリート再生骨材の圧裂試験

試験年月日 2024年 4月 9日

骨材の種類 再生骨材 13-0

試験場所 倉吉アスコン株式会社

試験条件

載荷速度 50 mm/min 試験温度 25 ℃

養生方法 25 ℃ 5時間以上

試験結果

供試体番号	1	2	3	4	5
供試体直径 (L) mm	101.6	101.6	101.6	101.6	101.6
供試体の厚さ (d) mm	50.3	50.9	49.2	50.5	50.3
供試体の乾燥質量 g	937.8	947.4	916.3	948.0	944.8
供試体の密度 g/cm ³	2.300	2.296	2.297	2.316	2.317
最大荷重 (P) N	15180	12980	14220	13610	14010
圧裂強度 (σ _t) MPa	1.89	1.60	1.81	1.69	1.74
変位量 (x) mm	1.75	1.42	1.65	1.61	1.57
圧裂係数 MPa/mm	1.08	1.13	1.10	1.05	1.11
平均に用いた圧裂係数 -	○	—	○	—	○
平均圧裂係数 MPa/mm	1.10				

備考：算出した圧裂係数5個のうち、最大と最小となる数値をそれぞれ除いた残りの3個の数値を平均し、圧裂係数とする。

○

※圧裂強度 ここで、

P：破壊時の最大荷重(N)

d：供試体の厚さ(mm)

L：供試体の直径(mm)

$$\sigma_t = \frac{2 \times P}{\pi \times d \times L}$$

※圧裂係数 ここで、

$$\text{圧裂係数} = \frac{\sigma_t}{x}$$

σ_t：圧裂強度(MPa)

x：最大荷重までの変位量(mm)